

政策シート 政策名 05 適切な伐採と流通の活性化

予算費目名 01 林業振興費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 01 産業経済

理想の姿  
(30年後)

◆創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

政策の柱  
(10年後)

- ◆輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
- ◆来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
- ◆多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

基本政策 02 作業から経営に！ 変革を遂げる農林水産業

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

天竜美林の多面的機能の維持・拡大と林業・木材産業の成長産業化に向け、FSC森林認証制度に基づく持続可能かつ適切な森林管理と、天竜材を活用した新事業創出や天竜材の流通量及び販路を拡大することで、SDGsや脱炭素社会の実現に資する。

(3) 関連するSDGsのゴール

④教育	⑥水・衛生	⑧成長・雇用	⑨イノベーション	⑪都市	⑫生産・消費	⑬気候変動	⑮陸上資源
-----	-------	--------	----------	-----	--------	-------	-------

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	1,090,564	1,029,709	1,284,800	1,235,676	1,042,585	1,051,916
決算	943,403	965,139	1,015,483	923,118	678,221	
人件費(報酬等)(A)		1,611	1,651			
人件費(人工分)(B)	55,020	56,080	56,120	53,540	43,240	41,440
年間経費(予算又は決算+A+B)	998,423	1,022,830	1,073,254	976,658	721,461	1,093,356

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
年間木材生産量	m <sup>3</sup>	目標	143,200	150,800	158,400	166,000	173,600	181,200
		実績	141,085	109,624	121,673	121,992	111,749	
森林経営計画認定面積(ha)	ha	目標	18,400	19,600	20,800	22,000	23,200	24,400
		実績	21,083	18,101	18,568	18,140	14,867	
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)政策評価

(1) 前年度(2023年度)実施内容

- ・住宅・非住宅への天竜材(FSC認証材)使用に対する支援を行うとともに、特に天竜材使用の象徴的な非住宅建築物への支援を拡充することで天竜材(FSC認証材)の需要拡大に努めた。
- ・天竜材(FSC認証材)の地産外商を目的に、ジャパンホームショー2023への浜松市ブース出展や大阪・関西万博へのセールス活動を実施した。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り

- ・林業・木材産業の成長産業化に向け、林道の維持補修、低コスト林業の推進による作業道の開設や高性能林業機械の導入支援等を行った。
- ・天竜材(FSC認証材)の流通量や利用拡大のため、住宅・非住宅での天竜材使用への補助制度を設け、木材の地産地消を推進するとともに、ジャパンホームショー2023浜松市ブース出展や大阪・関西万博へのセールス活動を実施し、積極的な天竜材(FSC認証材)のPR活動を実施した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	林道等整備事業	-	-		703,698	686,198	2.5			
2	低コスト林業推進事業	○	○		73,780	70,000	0.5			0.1
3	木材需要拡大事業	○	○		285,031	270,471	1.8			0.7
4	スマート林業推進事業	-	-		13,117	10,317	0.4			
5	林業成長産業化推進事業	○	○		3,329	2,629	0.1			
6	森林環境基金積立金	-	-		3,702	3,002	0.1			
7	森林管理運営経費	-	-		10,699	9,299	0.2			
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
計					1,093,356	1,051,916	5.60			0.80

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

## 事業シート (事業名) 01 林道等整備事業

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

林業振興や森林の多面的機能の持続的発揮、山村地域の振興などを目的に、林内道路網の整備と維持管理を行う。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2006	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等

#### (3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	-	(施策)					

#### (4) 関連するSDGsのゴール

	⑬気候変動	⑮陸上資源	⑥水・衛生	⑨イノベーション
事業とゴールの関連性	林道等の整備を進めることで素材生産量の拡大につながるるとともに、生産するために必要な林業従事者の雇用の創出につながる。			

### 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	625,392	563,693	504,671	751,976	645,256	686,198
	決算	568,632	565,888	492,044	520,495	308,570	
	国・県支出	137,865	97,187	120,904	129,571	93,796	81,807
	市債	192,800	169,600	210,000	224,900	176,400	173,800
	その他	24,878	94,419	38,259	9,892	32,849	195,000
	一般財源	213,089	204,682	122,881	156,132	5,525	235,591
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	20,300	21,000	21,000	20,660	18,200	17,500
人工	正規	2.9	3.0	3.0	2.9	2.6	2.5
	再任用(31h)				0.1		
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		588,932	586,888	513,044	541,155	326,770	703,698

### 3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
林内道路密度(m/ha) ※(公道延長+林道延長)÷民有林面積		目標	24.4	24.6	25.8	25	25.2	25.4
		実績	23.3	23.3	23.3	23.4	23.4	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

#### 4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

- 林内道路網を充実するため、国庫補助事業等を活用し以下の事業を行った。
- ①公共林道整備事業(国庫補助)／国庫補助により林道の開設【決算：77,737千円(うち前年度繰越：43,297千円)】
  - ②県営林道整備促進支援事業(負担金)／県が施工する林道の整備に対し、静岡県建設事業市町村負担金条例により負担金を支出【決算：40,633千円】
  - ③県単独林道整備事業／県単独補助により林道の改良等【決算：147,045千円(うち前年度繰越：80,521千円)】
  - ④市単独林道整備事業／国庫補助及び県単独補助の対象にならない林道の改良等【決算：19,429千円(うち前年度繰越：4,810千円)】
  - ⑤林道維持補修事業／市内的林道(204路線 約710km)を維持管理【決算：225,203千円(うち前年度繰越：75,407千円)】

#### 5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

##### (1)事業の成果と課題

指標の達成度

- |                     |                                    |
|---------------------|------------------------------------|
| ①公共林道整備事業(国庫補助)／    | 実績<br>林道開設0路線(繰越2路線)               |
| ②県営林道整備促進支援事業(負担金)／ | 林道開設2路線、改良・舗装1路線                   |
| ③県単独林道整備事業／         | 改良6路線(繰越10路線)、舗装2路線(繰越1路線)         |
| ④市単独林道整備事業／         | 舗装2路線他(繰越1路線)                      |
| ⑤林道維持補修事業／          | 林道維持補修委託3路線、工事15路線(R4繰越3路線)、小規模修繕等 |

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

・地球温暖化等に起因すると思われる豪雨の増加で、林道・作業道被害が多発、大規模化しており、災害に強い林道づくりや維持管理が必要になっている。

#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・2023年度は、大規模な豪雨災害(6月)による災害復旧が発生し、通常工事の進捗に影響を及ぼした。また地権者との交渉に難航したこともあり翌年度繰越になる路線が発生した。
- ・林道維持補修に係る大規模修繕必須箇所において調査及び工事を行った。

##### (2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・林道・林業専用道の整備については、国及び県補助金を活用し計画的に事業を進めていく(林業専用道は新規開設を目指し、国庫補助採択のための全体計画の作成を実施)。
- ・市単独事業については、計画的に事業を進めていく。

#### 7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

- 林内道路網を充実するため、国庫補助等を活用し以下の事業を行う。
- ①公共林道整備事業(国庫補助)／国庫補助により林道の開設及び改良等を行う。
  - ②県営林道整備促進支援事業(負担金)／県が施工する林道の整備等に対し、静岡県建設事業市町村負担金条例により負担金を支出する。
  - ③県単独林道整備事業／県単独補助により林道の改良等を行う。
  - ④市単独林道整備事業／国庫補助及び県単独補助の対象にならない林道の改良等を行う。
  - ⑤林道維持補修事業／市内的林道(204路線 約710km)を維持管理する。
  - ⑥林業専用道整備事業／国庫補助採択のための全体計画の作成を実施する。

## 事業シート (事業名) 02 低コスト林業推進事業

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

効率的な林業経営の推進を目的に、森林施業の集約化に不可欠な林内路網(作業道、作業路、索道)整備や素材生産コストの低減に向けた林業機械導入等を支援する。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2006	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等

#### (3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	I-1(1)エ				

#### (4) 関連するSDGsのゴール

	⑬気候変動	⑮陸上資源
事業とゴールの関連性	高性能林業機械導入や作業道開設などによる効率的な持続可能な林業経営を推進することで、気候変動や自然災害に対する強靱性を高める。	

### 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	88,445	124,470	475,908	107,180	92,186	70,000
	決算	67,963	91,891	199,245	100,029	89,042	
	国・県支出	18,146	46,040	130,899	27,580	35,535	
	市債						
	その他	16,163	45,851	68,346	72,449	53,507	33,000
	一般財源	33,654					37,000
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		6,000	4,600	3,540	3,520	4,220	3,780
人工	正規	0.6	0.4	0.3	0.4	0.5	0.5
	再任用(31h)	0.5	0.5	0.4	0.2	0.2	
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						0.1
年間経費(予算又は決算+A+B)		73,963	96,491	202,785	103,549	93,262	73,780

### 3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
年間木材生産量(m <sup>3</sup> )	I-1(1) 工	目標	143,200	150,800	158,400	166,000	173,600	181,200
		実績	141,083	109,624	121,673	121,992	111,749	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

#### 4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

- ① 林業機械・施設整備事業(補助金)  
国・県補助事業の採択を受けた林業関係団体等が行う木材加工・流通施設整備等を支援
- ② 低コスト林業推進助成事業(補助金)  
林道規程に該当しない森林所有者が行う作業道、作業路及び索道の開設を支援



#### 5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ① 林業機械・施設整備事業／補助金額28,435千円(うち前年度繰越:7,100千円)
  - ・(株)明善フォレスト(人員輸送車:1台)／補助金額935千円
  - ・天竜国産材事業協同組合(木材乾燥装置:1基)／補助金額17,500千円
  - ・鹿島木材(株)(ランニングソー:1台、キュービクル:1式)／補助金額10,000千円
  - ・(株)明善フォレスト(グラップル:1台)／補助金額7,100千円【繰越】
- ② 低コスト林業推進助成事業(補助金) 85,494千円
  - (作業道開設) 18路線 施工延長L=8,722m 補助金額27,546千円
  - (作業道補修) 39路線 施工延長22,509m 補助金額24,373千円
  - (作業路開設) 10路線 施工延長L=3,663m 補助金額11,243千円
  - (索道設置撤去) 10申請 補助金額11,008千円

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・林業機械等整備事業は、国の動向等を見極めつつ事業を執行した。
- ・低コスト林業推進事業(補助金)では、台風で破損等した作業道補修を中心に、計画的な事業が実施された。

##### (2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・低コスト林業推進事業(補助金)を活用し、路網整備を通じた作業の低コスト化を図っていく。



#### 7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

- ① 低コスト林業推進助成事業(補助金)  
林道規程に該当しない森林所有者が行う作業道、作業路及び索道の開設を支援する。

## 事業シート (事業名) 03 木材需要拡大事業

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

林業・木材産業の成長産業化を目的に天竜材(FSC認証材)の「地産地消」、「地産外商」を推進する。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2006	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等

#### (3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	○	(施策)	I-1(1)エ	I-1(1)オ	I-1(3)ウ		

#### (4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費	⑬気候変動	④教育	⑤陸上資源	⑥水・衛生	⑧成長・雇用	⑨イノベーション
事業とゴールの 関連性		適切かつ効率的な木材利用を進めるとともに、安心で質の高い教育・学習環境を提供することで、安全かつ強靱で持続可能な都市を実現する。					

### 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	253,206	251,572	220,016	289,441	276,814	270,471
	決算	207,217	220,378	276,232	223,182	254,485	
	国・県支出	4,500	5,270	5,558	25,823	14,330	3,894
	市債						
	その他	26,628	36,463	152,896	145,026	139,095	123,000
	一般財源	176,089	178,645	117,778	52,333	101,060	143,577
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		24,520	25,920	26,740	24,460	13,820	14,560
人工	正規	3.4	3.6	3.7	3.1	1.7	1.8
	再任用(31h)	0.2	0.2		0.3	0.3	
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.3	0.6	0.3	0.7
年間経費(予算又は決算+A+B)		231,737	246,298	302,972	247,642	268,305	285,031

### 3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
森林経営計画認定面積(ha)		目標	18,400	19,600	20,800	22,000	23,200	24,400
		実績	21,083	18,101	18,568	18,140	14,867	
地域材利用建築件数(棟) ※天竜材の家百年住居る助成事業助成棟数		目標	250	250	250	250	250	250
		実績	146	131	160	154	142	
FSC認証材生産量(m <sup>3</sup> /年)	I-1(1) オ	目標	103,000	111,000	119,000	127,000	135,000	143,000
		実績	67,048	59,550	65,568	57,170	2024.9頃	
天竜材の利用拡大に向けた連携数(都市・団体)	I-1(1) オ	目標	4	4	5	5	5	6
		実績	5	5	5	5	5	
森林組合作業班員数(人)		目標	200	200	200	200	200	200
		実績	173	165	161	149	2025.4頃	

(管理番号)										
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)	
	01	02	05	01	001728000	03	林業振興課	小林 和重	2024.7.1	
新規就業者支援者数(2019～累計)(人)	I-1(3)	ウ	目標	66	86	106	126	146	166	
			実績	66	89	114	138	163		
			目標							
			実績							

#### 4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

- ①天竜材の家百年住居の助成事業／天竜材(FSC認証材)の利用拡大を目的に、市内で天竜材を一定量以上使用した建築主に対し、建築費の一部を助成する。
- ②天竜材めくもり空間創出事業／天竜材(FSC認証材)の利用拡大を目的に、非住宅建築物をFSC認証材を利用して木質化した施主に対し、材料費の一部を助成する。
- ③森林整備・林業振興事業／森林組合や森林所有者が行う森林整備(造林、保育、間伐、搬出等)を支援する。
- ④森林活用等都市間連携事業／首都圏等の大都市との連携を促進する。
- ⑤森林環境教育推進事業／森林・林業に対する理解増進、森林環境意識を醸成するため森林環境教育を実施する。
- ⑥FSC認証材利用拡大推進事業／FSC認証材の普及啓発のための大手企業との連携、PRグッズの作成等の各種事業を実施。
- ⑦天竜材人材育成・担い手確保事業／林業従事者の安全対策や技術力向上、担い手確保・育成活動に助成する。



#### 5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ①天竜材の家百年住居の助成事業／支援件数:142棟(FSC追加助成=101棟)
- ②天竜材めくもり空間創出事業／支援件数:11件
- ③森林整備・林業振興事業
  - ・森林環境保全直接支援、美しい森林づくり基盤整備／間伐等、森林整備に要する経費を支援
  - ・合板・製材生産性強化対策事業(TPP対策)／間伐に要する経費を支援
  - ・林業・木材産業成長産業化促進対策事業、浜松型林齢平準化促進事業／主伐に関する植林・搬出等に関する経費を支援
- ④森林活用等都市間連携事業／首都圏の都市や学校との連携事業を実施
- ⑤森林環境教育推進事業／森林環境教育プログラムの受入れ体制の運営やPRを実施
- ⑥FSC認証材利用拡大推進事業／ジャパンホームショー2023へのブース出展、大阪・関西万博へのセールス活動等を実施
- ⑦天竜材人材育成・担い手確保事業／支援件数:14件(技術力向上:0件、担い手確保・育成:14件) 等

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

SDGsや脱炭素化への意識の高まりなどから、施設等への木材利用の機運が高まっており、国産材の安定供給が求められている。



#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

・脱炭素化や木材利用への意識の高まりに対応し、天竜材(FSC認証材)の更なる需要拡大を図るため、非住宅建築物への木材利用に対する助成制度を拡充した。

##### (2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

・天竜材の家百年住居の事業／コロナ禍の経済対策で拡充した部分を見直しより天竜材の流通拡大に繋がるものに拡充  
・森林環境教育推進事業／森林環境教育受入団体の自立・自走が完了したため事業終了

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	02	05	01	001728000	03	林業振興課	小林 和重	2024.7.1

## 7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)



- ①天竜材の家百年住居る助成事業／天竜材(FSC認証材)の利用拡大を目的に、市内で天竜材(FSC認証材)を一定量以上使用した建築主に対し、建築費の一部を助成(コロナ禍で拡充した加算額は見直し(減額:20万円→10万円)。天竜材の流通拡大のため、使用量の上限を拡充(増額:30万円→40万円)／全体の上限は変更なし:50万円)。
- ②天竜材ぬくもり空間創出事業／天竜材(FSC認証材)の利用拡大を目的に、非住宅建築物をFSC認証材を利用して木質化した施主に対し、材料費の一部を助成する。
- ③森林整備・林業振興事業／林業事業者や森林所有者が行う森林整備(造林、保育、間伐、主伐、搬出等)を支援する。
- ④森林活用等都市間連携事業／首都圏等の大都市との連携を促進する。
- ⑤FSC認証材利用拡大推進事業／FSC認証材の普及のための大手企業との連携、PRグッズの作成等の各種事業を実施。
- ⑥天竜材人材育成・担い手確保事業／技術力向上や担い手確保等を目的とした支援を実施。
- ⑦(新規)天竜林業イノベーション推進事業／天竜林業の課題抽出及び問題解決に向けた調査及びオープン講座の開催。

## 事業シート (事業名) 04 スマート林業推進事業

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

林業、林道に関する情報のデジタル化により、情報管理の高度化並びに省力化及び生産性の向上を促進し、木材生産の増加を目指す。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021	-	一般会計	自治事務(その他)	林道規程

#### (3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	-	(施策)						

#### (4) 関連するSDGsのゴール

				⑥水・衛生				
		⑬気候変動		⑮陸上資源				
事業とゴールの 関連性	林道等の整備により木材生産が拡大し、森林環境の維持・向上に貢献できる。							

### 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			10,000	35,782	10,825	10,317
	決算			9,086	33,752	10,825	
	国・県支出				27,152		
	市債						
	その他			9,086	6,600	10,745	4,000
	一般財源					80	6,317
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)			1,060	1,400	2,800	2,800
人工	正規			0.1	0.2	0.4	0.4
	再任用(31h)			0.1			
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)				10,146	35,152	13,625	13,117

### 3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
林道情報のデジタル化(km・累計)		目標	-	-	150	300	400	
		実績	-	-	161	274	351	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	02	05	01	001728000	04	林業振興課	小林 和重	2024.7.1

#### 4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

- ①林道管理システム構築
  - ・林道台帳のデジタル化(204路線・710km)は2021(R3)年度に完了
  - ・マッピングGIS(三次元点群)データの取得(24路線・76km)【累計:80路線・351km】
- ②LPWA活用推進事業
  - ・LPWAエリア構築事業/モデル地域(天竜区龍山町)において、LPWA通信インフラの維持管理を実施
  - ・LPWA活用モデル事業/林業従事者に対し位置情報の把握が可能な子機を貸し出し、携帯圏外でのコミュニケーションやトラブル対応の安全確保、木材運搬車や林業機械の位置情報把握による労働生産性向上を検証



#### 5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

- (1)事業の成果と課題  
指標の達成度 
  - ①林道管理システム構築
    - ・林道台帳のデジタル化は、2021(R3)年度に全路線(204路線・710km)完了
    - ・マッピングGIS(三次元点群)データは、24路線・76kmを取得し、累計で80路線・351km
  - ②LPWA活用推進事業
    - ・モデル地域(天竜区龍山町)でのLPWA通信インフラの維持管理と3事業体による携帯圏外でのコミュニケーション構築等のモデル事業を実施
- (2)考慮すべき社会経済状況の変化(新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)
  - ・デジタルファースト宣言(市)によるデジタル化の促進



#### 6 事業の見直し (Action)

- (1)前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)  
大項目  小項目  /  事業費  人工 
  - ①林道管理システム構築/林道路線情報の主要路線の一部がGIS化されるため、今後の林道災害時や通常の維持管理時における有効な利活用が見込まれる。
  - ②LPWA活用推進事業/引き続きモデル事業を実施
- (2)当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)  
大項目  小項目  /  事業費  人工 
  - ・林道管理システム構築/主要路線のマッピングGIS(三次元点群)データの取得が終了。今後、林道デジタル台帳の維持管理を実施。
  - ・森林モニタリング推進対策事業/災害発生現場や開発行為現場等の状況を適時に把握し、行政の迅速な対応を可能とする体制を整備するため新設。



#### 7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

- ①林道管理システム構築/林道デジタル台帳の維持管理
- ②LPWA活用推進事業/引き続きモデル事業として事業者への子機貸し出しを継続し、携帯圏外でのコミュニケーションやトラブル対応等の安全確保、木材運搬車や林業機械の位置情報把握による労働生産性向上を検証
- ③森林モニタリング推進対策事業/災害発生現場や開発行為現場等の状況を適時に把握し、行政の迅速な対応を可能とする体制を整備

# 事業シート (事業名) 05 林業成長産業化推進事業

## 1 基本情報

### (1) 事業目的・事業対象

地域の「素材生産」、「製材・加工」、「木材流通」のキープレイヤーが一体となり、素材生産量の拡大や木材の安定供給体制の確立、天竜材製品の生産・販売量の拡大、新規雇用を創出し、林業・木材産業の成長産業化につなげる。

### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2017	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等

### (3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	I-1(1)エ				

### (4) 関連するSDGsのゴール

		⑧成長・雇用	⑨イノベーション
事業とゴールの関連性	素材生産量の拡大や木材の安定供給体制の確立、天竜材製品の生産・販売量の拡大、新規雇用を創出し、林業・木材産業の成長産業化につなげることは、持続可能な経済成長と産業化の促進及びイノベーションの推進を図るものである。		

## 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	77,289	40,442	61,437	35,609	1,500	2,629
	決算	56,246	40,136	29,972	33,776	1,500	
	国・県支出	56,166	40,085	29,948	27,250		
	市債						
	その他				6,526	1,500	1,000
	一般財源	80	51	24			1,629
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	2,100	2,460	2,380	1,400	700	700
人工	正規	0.3	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1
	再任用(31h)		0.1				
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.1			
年間経費(予算又は決算+A+B)		58,346	42,596	32,352	35,176	2,200	3,329

## 3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
年間木材生産量(m <sup>3</sup> )	I-1(1) エ	目標	143,200	150,800	158,400	166,000	173,600	181,200
		実績	141,085	109,624	121,673	121,992	111,749	
FSC認証材生産量(m <sup>2</sup> )		目標	103,000	111,000	119,000	127,000	135,000	143,000
		実績	67,048	59,550	65,568	57,170	2024.9頃	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	02	05	01	001728000	05	林業振興課	小林 和重	2024.7.1

#### 4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

林野庁から指定された「林業成長産業化地域創出モデル事業」が2021(R3)年度で終了(期間:2017~2021年度/5年間)。この取組を更に進め、本市林業の成長産業化を推進するため、天竜材(FSC認証材)の多様な分野への展開に向けた「地産地消・地産外商推進」及び「製品開発支援」に関する取組を支援する制度。

#### 5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

##### (1)事業の成果と課題

指標の達成度

・(株)鈴三材木店/産学連携による天竜材新製品開発事業 補助金1,500千円

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

・「林業成長産業化地域創出モデル事業」が終了し、この取組を更に進め、本市林業の成長産業化を推進するための制度。

##### (2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

・2024年度は制度新設から3年目。引き続き、新たな制度を推進することで更なる林業の成長産業化を目指す。

#### 7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

本市の林業成長産業化に繋がる次の取組を支援する。

・引佐町森林組合/林業情報技術増強事業 補助金1,129千円

・(株)マルホン/天竜材を使用した内装部材の開発及び販売促進事業 補助金1,500千円

## 事業シート (事業名) 06 森林環境基金積立金

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

森林、河川等の自然環境を守り育て、森林の公益的機能を維持増進し、併せて林業の振興を図るため、2006(平成18)年4月に創設した「浜松市森林環境基金」への積立を適正に行う。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2006	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市森林環境基金に関する条例

#### (3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

#### (4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費	⑬気候変動	④教育	⑮陸上資源	⑥水・衛生	
事業とゴールの 関連性		基金は、森林、河川等の自然環境を守り育てるための事業、森林の有する公益的機能を維持増進するための事業及び林業の振興を図るための事業に要する経費に充てるため、さまざまな持続可能な開発目標とリンクしている。				

### 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	34,896	34,315	3,003	3,009	4,611	3,002
	決算	34,646	34,314	1,814	2,512	4,611	
	国・県支出						
	市債						
	その他	34,646	34,314	1,814	2,512	4,611	3,002
一般財源							
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		700	700	700	700	700	700
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		35,346	35,014	2,514	3,212	5,311	3,702

### 3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
			(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

#### 4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

○基金への積立  
・寄附金 12件及び寄付金箱 4,611千円  
・利子 62千円  
・森林環境譲与税 0千円  
○基金の効果的な活用  
・3事業 3,940千円



#### 5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題  
指標の達成度   
・森林環境基金への寄付金及び基金の運用収入、森林環境譲与税を基金に積み立てることで、森林環境基金活用事業の財源として活用した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



#### 6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)  
大項目  小項目  /  事業費  人工

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)  
大項目  小項目  /  事業費  人工



#### 7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

○基金への積立  
・市民や企業からの寄附金を基金に積立てる。  
・基金の運用益を基金に積立てる。  
・森林環境譲与税を基金に積み立てる。  
○基金の効果的な活用  
・基金事業所管課と連携を図り、基金の効果的な活用を図る。

# 事業シート (事業名) 07 森林管理運営経費

## 1 基本情報

### (1) 事業目的・事業対象

--

### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

### (3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	—	(施策)					

### (4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性							

## 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	11,336	15,217	9,765	12,679	11,393	9,299
	決算	8,699	12,532	7,090	9,372	9,188	
	国・県支出				1,605		
	市債						
	その他	171	5,611	78	154	273	393
	一般財源	8,528	6,921	7,012	7,613	8,915	8,906
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)		1,611	1,651			
	人件費(人工分)(B)	1,400	1,400	700	1,400	2,800	1,400
人工	正規	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)					0.5	
年間経費(予算又は決算+A+B)		10,099	15,543	9,441	10,772	11,988	10,699

## 3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
			(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

**4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)**



**5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)**

**(1) 事業の成果と課題**

指標の達成度

**(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)**



**6 事業の見直し (Action)**

**(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)**

大項目  小項目  /  事業費  人工

**(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)**

大項目  小項目  /  事業費  人工



**7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)**

政策シート 政策名 05 適切な伐採と流通の活性化

予算費目名 02 林業施設災害復旧費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 01 産業経済

理想の姿 (30年後) ◆創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

政策の柱 (10年後) ◆輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。  
◆来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。  
◆多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

基本政策 02 作業から経営に！ 変革を遂げる農林水産業

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

暴風雨、洪水、地震等の異常な自然現象によって損害を受けた林業用施設(林道及び付帯施設)を復旧する。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生	⑩イノベーション	⑬気候変動	⑮陸上資源						
-------	----------	-------	-------	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	260,000	820,000	310,000	650,000	1,662,000	740,000
決算	312,483	305,247	386,719	592,889	655,079	
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	2,100	2,100	2,100	2,800	4,200	3,850
年間経費(予算又は決算+A+B)	314,583	307,347	388,819	595,689	659,279	743,850

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
災害復旧工事の着工率	%	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100	99	100	100	100	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)政策評価

(1) 前年度(2023年度)実施内容

暴風雨、洪水、地震等の異常な自然現象によって損害を受けた林業用施設(林道及び付帯施設)を復旧する。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り  
・2023年度は、国庫補助災害16路線(R4線越5箇所、R2からの債務2箇所)及び単独災害118路線(224箇所)となった。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	林業施設災害復旧事業	-	-		743,850	740,000	0.6				
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					743,850	740,000	0.55				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

## 事業シート (事業名) 01 林業施設災害復旧事業

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

暴風雨、洪水、地震等の異常な自然現象によって損害を受けた林業用施設(林道及び付帯施設)を復旧する。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2006	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法、農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律 等

#### (3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	-	(施策)					

#### (4) 関連するSDGsのゴール

				⑥水・衛生		⑨イノベーション
		⑬気候変動	⑮陸上資源			
事業とゴールの関連性	異常な自然現象によって受けた被害を復旧することは、持続可能な森林経営等につながる。					

### 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	260,000	820,000	310,000	650,000	1,662,000	740,000
	決算	312,483	305,247	386,719	592,889	655,079	
	国・県支出	125,255	34,060	118,106	234,840	349,141	260,000
	市債	7,200	41,900	143,300	191,500	253,200	333,000
	その他						
	一般財源	180,028	229,287	125,313	166,549	52,738	147,000
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		2,100	2,100	2,100	2,800	4,200	3,850
人工	正規	0.3	0.3	0.3	0.4	0.6	0.55
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		314,583	307,347	388,819	595,689	659,279	743,850

### 3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
災害復旧工事の着工率(%)		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100	99	100	100	100	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

#### 4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

- ①国庫補助 災害復旧事業【決算見込:370,000千円】  
国庫補助により、林業用施設(林道及び付帯施設等)の災害復旧事業を債務事業で9路線10箇所施工中である。
- ②市単独 災害復旧事業【決算見込:590,641,039円】  
市単独事業として、林業用施設(林道及び付帯施設等)の災害復旧事業を行った。



#### 5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

- (1)事業の成果と課題  
指標の達成度   
・2023年度は、国庫補助災害16路線17箇所(R4線越5箇所)及び単独災害118路線(224箇所)となった。
- (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



#### 6 事業の見直し (Action)

- (1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)  
大項目  小項目  /  事業費  人工   
・災害発生後、早期に対応したことにより発生した災害は可能な限り着工することができた。
- (2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)  
大項目  小項目  /  事業費  人工   
・災害が発生した場合には、市民生活や林業経営の維持のため、早期着手・早期完了を目指していく。



#### 7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

- ①国庫補助 災害復旧事業  
国庫補助により、林業用施設(林道及び付帯施設等)の災害復旧事業を行う。
- ②市単独 災害復旧事業  
市単独事業として、林業用施設(林道及び付帯施設等)の災害復旧事業を行う。